

# アートな川越 70

一月二十四日(土)から市立美術館で特別展「田中屋コレクション」小村雪岱×岩崎勝平、ひとを極める」が開催されます。川越出身の日本画家・小村雪岱と洋画家・岩崎勝平の作品、約百三十点を見ることが出来ます。

展示の中心は、人物描写が巧みだった雪岱と勝平が、それぞれ描いた人物画。左の「赤衣着物の女」の制作年は不明ですが、昭和二十六年ごろから勝平は「女十二題」などの婦人像のシリーズを、パステルや木炭で描いていました。この「赤衣着物の女」は、何かに寄りかかり、考えごとをしている様子に見えます。また、肩掛けを見ると、花柄の模様が細かく描かれています。

この特別展は、三月二十二日(日)まで行われます。詳しくは、十二月二十五日発行の広報川越・七ページをご覧ください。



岩崎勝平 赤衣着物の女  
77cm×54.5cm パステル

## TV「わが街川越」番組ガイド

広報室・TEL224-5495

### 舟橋市政・4期16年を振り返る

2月で退任する舟橋功一市長が、在任中の市政運営について語ります。

### テレビ埼玉

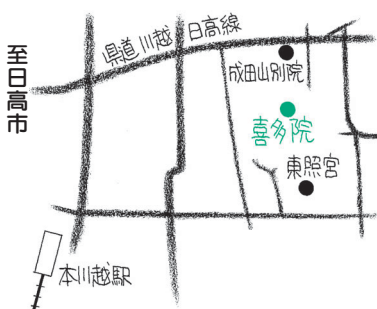
(アナログ=38ch・デジタル=32ch)

1月3日(土)

午前9時30分～9時40分

再放送=1月4日(日)・10日(土)・

11日(日)、午前9時30分～9時40分



表紙の地図



## タギヨウシヨウ



アカマツが変異した種類の一つで、主に園芸品種として使われています。漢字で書くと「多行松」。いろいろな方向に枝が分かれていることから、この漢字が当てられたのでしょうか。

写真のタギヨウシヨウは、「根上がりの松」と呼ばれるクロマツがあることで知られる、市民会館の北側の花壇に植えられた物。高さは一メートルほどで、横に広がりを見せています。内側から見ると、さまざまな方向に枝が伸びています。太い幹に支えられた「根上がりの松」とは、違った趣が感じられます。